

もっとステップアップしたい
社会人の皆さま

社員のスキルアップを望む
経営者の皆さま

筑波大学と繋がりのある
卒業生の皆さま

筑波大学大学院 理工情報生命学術院
システム情報工学研究群

社会課題

×

数理的
アプローチ

=

ソリューション
創造力

社会工学学位プログラム(博士)

社会工学学位プログラムの教育指標

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 1. 社会現象理解 | 理論や経験則に基づき社会現象を演繹的に理解する能力 |
| 2. データ解析 | データの分析に基づき社会現象を帰納的に理解する能力 |
| 3. 制度設計 | 社会現象の理解に基づき社会を改革する制度を設計する能力 |
| 4. 実験と提言 | 設計した制度に基づき具体的な提言や社会実験を行う能力 |
| 5. 測定と評価 | 社会実験や提言の結果を測定・評価し、1、2の社会現象理解を深化させる能力 |

社会人のための博士後期課程 早期修了プログラム

最短1年で博士号を 取得可能

すでに研究業績のある社会人が、
通常3年の博士後期課程を1年
または2年で修了し、課程博士号
を取得するプログラムです。

※審査要件：査読付き学術論文2編以上
(筆頭著者であることが望ましい)

長期履修制度

時間をかけての 学位取得も可能

仕事と両立しながら、最長5年
かけての学位取得が可能です。
最大3年分（通常修業年限）の
授業料しかかからないため、
経済的負担も増えません。

社会人特別選抜

社会人経験を 活かせる入試

1年以上の職務経験を有する
社会人を対象に、社会人特別
選抜を7月・8月・1～2月の
年3回実施します。これまでの
研究業績や経験が入試で評価
されます。

早期修了1年モデル



西村 直樹
株式会社リクルート

会社の理解もあり、業務の一部として週1回大学へ
行き、輪読ゼミへの参加や指導教員との議論、講義
の受講などをしていました。通常業務と並行しての
研究活動は大変でしたが、短期間であったからこそ
集中して取り組むことができたと思います。私自身
これまでの取り組みを見つめ直すとても良い機会と
なりました。



赤星 健太郎
内閣府都市可視化調整官
(国土交通省都市政策課企画専門官)

国際的な仕事の中で博士号取得の必要性を強く感じ
入学を決意しました。博士号取得後は、特に海外で
一目置かれるようになり、仕事が進めやすくなりま
した。また、課題を解決する力に加え自分で課題を
立てる力が身についたことで、人生が豊かになった
と感じています。社会人でも意志があれば、博士号
取得は可能です。

働きながら3~4年モデル



田口 壮輔
デロイトトーマツコンサルティング合同会社

シンクタンク研究員として公共政策にかかわる仕事
をする中で、博士号の重要性と専門知識・スキルを
さらに磨く必要性を痛感し、“つくばの社工”の博士
後期課程に戻る決断をしました。博士後期課程で学
んだ知識とスキルをさらに活かすべく、現在はコン
サルティングファームで社会イノベーションを支援
する仕事をしています。



山本 光代
海上幕僚監部防衛課分析室（当時）

職場からの部外研修として、博士前期課程を履修
していましたが、博士号を取得したいという思い
から、研修を修了し職務に復帰した後、上司の許
可を得て博士後期課程へ進学しました。博士前期
課程在学中から博士号取得の希望を指導教員に伝
え、計画的に学会発表、論文投稿等を行っていた
ため、3年間で学位取得ができました。

社会工学学位プログラム（博士）の標準履修モデル

単位		1年次	2年次	3年次
学位プログラム必修科目	12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会工学博士特別演習Ⅰ（研究計画発表） ・社会工学博士特別演習Ⅱ（学会発表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会工学博士特別演習Ⅲ（中間発表） ・社会工学博士特別演習Ⅳ（査読付き論文執筆） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会工学博士特別研究Ⅰ（予備審査） ・社会工学博士特別研究Ⅱ（最終審査）
学位プログラム選択科目	8～	・社会工学ファシリテーター育成プログラムⅠ	・社会工学ファシリテーター育成プログラムⅡ	
その他の選択科目		<ul style="list-style-type: none"> ・研究倫理 ・博士のキャリアパス 		
授業科目以外の学修		<ul style="list-style-type: none"> ・INFOSS情報倫理 ・ティーチングアシスタント ・学会発表 	・学会発表	・研究のまとめ

・社会人でも無理なく履修が可能です。

※学位プログラム必修科目：博士論文執筆の過程で履修

学位プログラム選択科目：社会工学に関連するプロジェクトへの参加で履修可能

その他の選択科目：集中授業やオンライン授業を受講可能

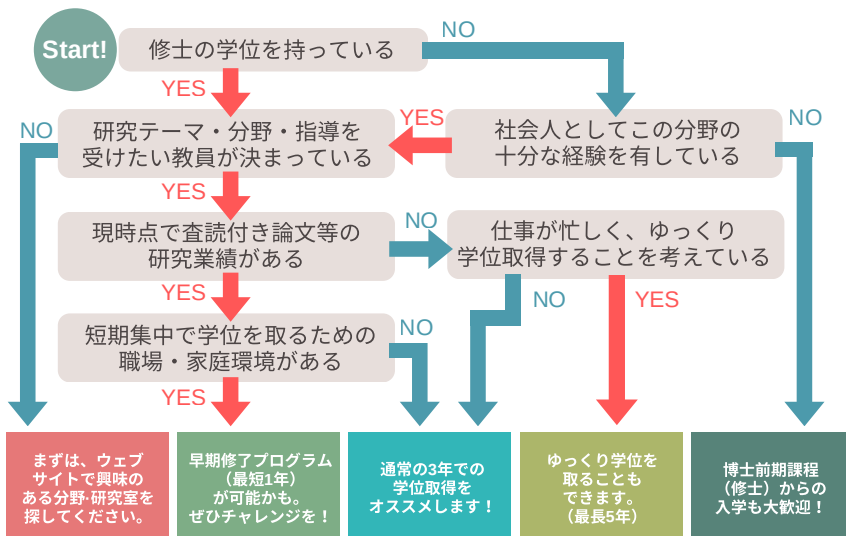
- ・主指導教員と2名の副指導教員による複眼的指導を受けることができます。
- ・学会旅費の補助があります。

入学試験

	7月実施	8月実施	1～2月実施
一般入学試験	10月入学	4月入学	4月入学
社会人特別選抜			

志望動機、これまでの研究内容及び今後の研究計画のプレゼンテーション（15分程度）の後、関連事項について試問する（10分程度）。受験生は、希望する研究指導教員と必ず事前に連絡を取ってください。

あなたにぴったりの学び方はこれ！



お問い合わせ

筑波大学大学院 理工情報生命学術院
システム情報工学研究群 大学院教務

☎ 029-853-4979

✉ contact@sie.tsukuba.ac.jp

より詳しい情報については
社会工学学位プログラムの
ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/>



社会工学学位プログラム（博士）は、頑張る社会人を応援します！
ぜひ、興味のある研究室の教員に連絡を取って相談してください！